

ブラックダイヤモンド

ビレイデバイス取扱説明書

※本製品を使用する前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

警告

本製品はロッククライミング及び登山以外の用途には使用できません。ロッククライミング及び登山は危険を伴う行為です。そのことを事前に理解し、危険を受け入れることが必要です。また、その行為中の行動と判断は本人の責任において行して下さい。本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている使用方法と警告を理解し、製品の性能と限界を熟知しておいて下さい。全てのクライマーは適切な指導者から技術を習得することをお奨めします。ここに示した警告を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

ビレイデバイスについて

ビレイは比較的単純な操作ですが、最大限の集中力と真剣さが必要とされます。ビレイヤーにはクライマーの墜落を止める責任があり、失敗は許されません。ビレイやラッセル（懸垂下降）では、どちらかの手で制動を掛けながらロープの流れを調整して下さい。ロープはしっかり握り、ブレーキハンド（制動する手）はどんな時でも離さないで下さい。

警告：

- ・細い径のロープでビレイやラッセルを行う場合、太い径のロープより流れが速いので、制動の調整がより難しくなります。
- ・適切な指導者にビレイとラッセルの動作を学び、常に最大限の注意を払ってこれらの動作を行なって下さい。
- ・ATC-XP、ATCガイド、ATC、スーパー8はロッククライミング、アيسクライミング、登山専用のビレイ/ラッセルデバイスです。設計用途以外の使用や高速で下降するラベリングには使用しないで下さい。ビレイデバイスを流れるロープスピードが速くなればなるほどデバイスが高熱になり、ナイロンロープやハーネスが溶けたり火傷をしたりするおそれがあります。

○ ATC-XP、ATCガイド

ATC-XPとATCガイドは、制動時にハイフリクションモード(HFM)とレギュラーフリクションモード(RFM)の2通りの制動力を選べるビレイデバイスです。HFMは細いロープのビレイ、シングルロープでのラッセル、ハングドックのビレイ等、より強い制動力が求められる場合に有効です。HFMにはRFMの2～3倍の制動力があります。強い制動力を必要としない場合はRFMを使って下さい。ATC-XPとATCガイドは7.7mm～11mm径のロープに対応します。ロープの用途や特性を理解して、正しくビレイ/ラッセルを行って下さい。

HFMとRFMの使い方

ATC-XPとATCガイドはシングルロープ、ダブルロープ、ツインロープに対応します。

1. 本または2本のロープをU字形にして、ATC-XPまたはATCガイドの穴に通して下さい。ワイヤーケーブルが付いていない方から通して下さい。
2. U字形に通したロープとATC-XPまたはATCガイドのワ

イヤークーブルの両方を、ハーネスに取り付けられたロックンカラビナにクリップして下さい。HFMの場合、クリート（V字型の溝）がブレーキハンド（制動する手）の側にきます（図1、3）。RFMではクリートの無い縁がブレーキハンドの側にきます（図2、4）。

3. ロッキングカラビナの安全環を締めて下さい
 4. 制動を掛ける時は、ブレーキハンドでしっかりロープを握り、身体側に引いて下さい。ATC-XPまたはATCガイドのクリートもしくは縁にロープが押しつけられることで摩擦が発生し、ロープの流れを調整したり墜落を止めたりラッセルすることができます。
- 警告：HFMでビレイを行うと、制動時にクライマーとプロテクションに大きな荷重が掛かります。（ただしオートロック機構のビレイデバイスほどではありません）。プロテクションに不安のあるルートでは、RFMでビレイを行って下さい。

ガイドモードの使い方 (ATCガイド)

ATCガイドには、ビレイポイントに直接セットして1人もしくは2人のセカンドクライマーをビレイできるガイドモード(GM)があります。GMにより1人または2人のセカンドクライマーの墜落を止め、ロープの流れをロックすることができます。

1. ロープをHFMの通し方でATCガイドに通して下さい。図5のように、セカンドクライマー側のロープがブレーキハンド側のロープより上になり、メタルアイ(b)に近い方の穴を通していなければいけません。

警告：正しく器具をセットしないとロープの流れをロックすることはできません。

2. ロープのループとATCガイドのワイヤーケーブルの両方を、ロックンカラビナ(a)にクリップして安全環を締めて下さい。
3. メタルアイ(b)をロックンカラビナ(c)にクリップし、ロックンカラビナ(c)をビレイアンカーにセットして下さい。この時、ロープがビレイヤーの方を向くようにセットして下さい。
4. ロッキングカラビナ(c)の安全環を締めて下さい。
5. 図5のように、ロープがたるまないように両手でたぐりながらビレイして下さい。クライマーがテンションを掛けるとATCガイドがロックします。1人のクライマーがテンションを掛けた状態でも、もう1人のクライマーを引き上げることが出来ます。

警告：どんな場合でもブレーキハンドをロープから放さないで下さい。ATCガイドに髪の毛や衣服が噛んでいないかをチェックして下さい。ダブルロープをビレイする場合は、2本のロープを同じ方向からATCガイドに通して下さい。

ガイドモードでクライマーをローダウンさせる方法 (ATCガイド)

ATCガイドを少し引き上げてロックを解除することで、セカンドクライマーをローダウンさせることができます。

1. 図6のようにスリング、細引き、またはスッターをリリースホール(d)に通して下さい。
- 警告：リリースホールはATCガイドのロック解除以外には使わないで下さい。ローダウンの操作中はブレーキハンドでしっかりロープを握って下さい。
2. 図6のように、セカンドクライマーの体重によっては、リリースホールを引き上げてロックを解除する必要があります。
- 警告：ATCガイドのロックを解除する前に、ブレーキハンドをしっかりと握って下さい。しっかりと握っていないと解除と同時にロープが急激に流れてしまいます。

3. ATCガイドの角度を調整しながらブレーキハンドでロープの流れを調整し、クライマーをローダウンさせて下さい。

4. ATCガイドを引き上げるのが難しい場合は、ビレイアンカーにカラビナを掛け、リリース用スリングをカラビナに通して体重を掛けて下さい（図7）。スリングの長さが足りない時は延長して下さい。

警告：ATCガイドのロックを解除する前に、ブレーキハンドをしっかりと握っていないと、解除と同時にロープが急激に流れて大変危険です。

5. ローダウンを止めるには、リリーススリングから体重を抜き、ブレーキハンドを強く握って下さい。

○ ATC

ATCは7.7mm径～11mm径のロープに対応します。

ビレイとラッセルの方法

- 1.1 本もしくは2本のロープをU字形にして、ATCの小さい方の穴から通して下さい（図8）。
2. U字形に通したロープとATCのワイヤーケーブルの両方を、ハーネスに取り付けられたロックンカラビナにクリップして下さい（図9、10）。
3. ロッキングカラビナの安全環を締めて下さい。
4. ワイヤークーブルを傷めるので、ロープとワイヤークーブルが交差しないようにして下さい（図11）。

○ スーパー8

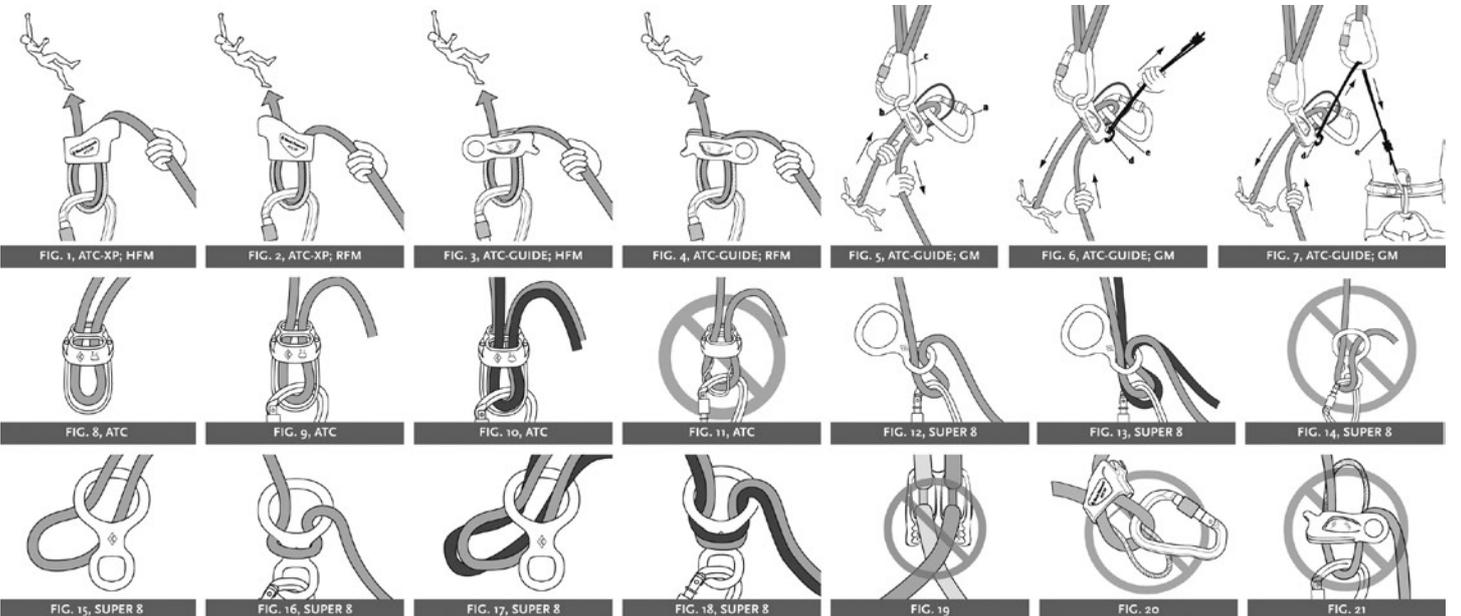
ブラックダイヤモンド・スーパー8は、ベーシックな「エイト環」デザインに改良を加えた軽くて使い勝手の良いビレイ/ラッセルデバイスです。スーパー8の使い方は従来のエイト環と同じです。小さい方の穴を使ってビレイプレートとしても使えます。9mm径までのダブルロープ、11mm径までのシングルロープのビレイが可能です。

ビレイの方法

- 1.1 本もしくは2本のロープをループにして、スーパー8の小さい方の穴に通して下さい（図12、13）。
 2. ロープのループを、ハーネスに取り付けられたロックンカラビナにクリップして下さい。
 3. ロッキングカラビナの安全環をロックして下さい。
- 警告：図14のように、スーパー8の大きい方の穴を使ってビレイをしないで下さい。

ラッセルの方法

1. ロープをU字形にしてスーパー8の大きい方の穴に通して下さい（図15、17）。
2. ロープのループにスーパー8の小さい方のリングをくぐらせ、ロープをステム部分（8の字のくぼんだ部分）に沿わせて下さい。
3. スーパー8の小さいほうの穴を、ハーネスに取り付けたロックンカラビナにクリップして下さい（図16、18）。
4. ロッキングカラビナの安全環を締めて下さい。
5. ロープがステム部分に沿わせてあることを確認して下さい。図14のように、大きい穴だけにロープを通してカラビナに掛けることは絶対にしないで下さい。



警告

- ・ビレイとラッペルの正しい方法を習得するために、適切な指導書を読み、十分に練習して下さい。誤った方法でビレイやラッペルを行うと、死亡や重傷を負う可能性があります。
- ・この取扱説明書はビレイデバイスの正しい使い方と限界について解説したものです。ビレイやラッペルの技術については解説しておりません。
- ・ビレイデバイスの機能を効果的に発揮するために、ローブを正しく通し、どんな場合でもブレーキハンドはしっかりと握って下さい。
- ・ハーネスには様々な種類があり、モデルによってビレイデバイスの取り付け位置が違います。ハーネスの取扱説明書を読み、正しい位置にビレイデバイスを取り付けて下さい。取り付けにはロックンガカラビナを使用して下さい。
- ・この取扱説明書で解説している以外の方法でローブを通さないで下さい。
- ・ローブ同士が交差しないように注意して下さい(図19)。
- ・ATC-XP、ATCガイド、ATCの場合、ローブとワイヤーケーブルが交差しないように注意して下さい(図20)。
- ・ビレイデバイスはナッツのようなプロテクションとしては使用できません。
- ・ここに掲載されているビレイデバイスは、ソロクライミングの確保には使用できません。
- ・図21のように、ビレイデバイスを反対向きにして使用しないで下さい。
- ・髪の毛、衣服、ブレーキハンドなどが器具に巻き込まれないように注意して下さい。
- ・高速で懸垂下降をすると、器具が高温になりローブのシースやハーネスを溶かしたり、火傷を負うおそれがあります。
- ・シースが緩んだローブや傷みの激しいローブでビレイすると、シースがずれてたるみが出る場合があります。これによりローブがビレイデバイスに噛んでしまう場合があります。

点検と寿命

- 使用する前後に破損や磨耗がないか必ず点検して下さい。どんなクライミングギアにも寿命があります。以下のような症状がみられた場合、使用をやめて破棄して下さい。
1. ローブとの摩擦で著しくすり減っている場合。
 2. クラック、傷、バリ、磨耗による溝などがローブ接触面に見られる場合。
 3. ワイヤケーブルが擦り切れたりほつれたりしている場合。
 4. 腐食が見られる場合。
 5. 高い場所から落としてしまった場合。

ビレイデバイスにいかなる改造も加えないで下さい。信頼性に少しでも不安を感じる場合は、使用をやめて破棄して下さい。破棄する時は再使用されないように処分して下さい。

手入れと保管

1. 直射日光の当たらない、清潔で乾燥した場所に保管して下さい。
2. ストープや暖炉など熱源の近くに保管しないで下さい。
3. バッテリー酸や溶剤など腐食性の薬品に触れないようにして下さい。
4. 潮風にさらされたり海水に浸けてしまった場合、冷水で十分にすすいで下さい。

中古品について

中古品を購入しないで下さい。道具を信頼して使うためには使用履歴を把握しておく必要があります。中古品は安い価格で購入できますが、信頼性の高い新品の代用にはなりません。

1年間保証

ご購入いただいたから1年間、第一購入者に限り、品質もしくは製造上の欠陥が見つかった場合無償交換いたします。欠陥が見つかった場合、ご購入店にお持ち込みいただくか、輸入代理店に直接お送り下さい。製品を無償にて新品交換いたします。無償交換をこの保証における責務の上限とし、保証期間の満了とともに、その責務も終了するものとします。

保証の対象外

以下のケースは1年間保証の対象外となります。

- ・通常の損耗
- ・メーカーが認めている以外の部品を交換したり、製品に改造を加えたことによる損傷
- ・間違った使い方や手入れによる損傷
- ・事故、不注意、目的外の使い方をしたことにより生じた損傷

ブラックダイヤモンド日本総代理店

株式会社ロストアロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折 1386-6

TEL：049-271-7113(ユーザーサポート)

e-mail：info@lostarrow.co.jp